

はまちよう 浜町	おもてまち 表町
へつづいがし 竈河岸	もとちよう 元町
にんぎようちよう 人形町	ふじしろちよう 藤代町
たかさごちよう 高砂町	かめざわちよう 亀沢町
なにわちよう 難波町	なにかみ 深川橋下
ひさまつちよう 久松町	こびきちよう 木挽町
ばくろちよう 馬喰町	しば ひかげちよう 芝日蔭町
まつえだちよう 松枝町	おもてでんまちよう 表伝馬町
かめいちよう 亀井町	うらでんまちよう 裏伝馬町
とおひあぶらちよう 通油町	あおやまおんだむら 青山穂田村
しながわちよう 品川町	りくどうのつじ 六道辻
うおがし 魚河岸	せんだがや 千駄ヶ谷
かまくらがし 鎌倉河岸	ひろおちよう 広尾町
みかわちよう 三河町	とみさかちよう 富坂町
ぬりしちよう 塗師町	ねづ 根津
なかまち 仲町	さしがや 指ヶ谷
はたごちよう 旅籠町	たばたむら 田端村
くろもんちよう 黒門町	いんぼぬま 印旛沼

つるみげんじろう げんざ えもん
鶴見源次郎（御家人）、源左衛門（父）—ぬい（妻）、おつね（女中）

ゆうのしん てるい よしのすけ
祐之進（次男）—照衣（嫁）、由之助（叔父）

えぐちしんべえ
江口新兵衛（小普請方吟味役）

おりえ つる まんのすけ
織江（長女 源次郎の元妻）、津留（次女）、満之助（弟）

よしむらしげのじよう
吉村繁之丞（作事方下奉行の息子）

すけさく
助作（日傭取り 長屋住人）—おまつ（女房）

ほそだたみのじよう
細田民之丞（旗本）、ゆき（義妹）、矢部老人（家臣）

えいじゆどう にしむらやよはち やすけ
永寿堂 西村屋与八（版元）、弥助（手代）

つかもときそう とだゆうのすけ
塚本喜惣（無眼流道場主）、戸田雄之助（高弟筆頭）

おきつしんござ えもん
興津新五左衛門（塚本の師）

あかしどうげん なみ
赤石道玄（塚本の友人）、奈美（孫娘）＝おこう（駿河大納言家血筋）

うとくいん とくがわよしむね
有徳院（徳川吉宗）

こうたいいんだいなごんいえもと
孝泰院大納言家基（将軍家治の世子）

みずのただとも おそばごようにん いなばまさあき
水野忠友（御側御用人）、稲葉正明（御側御用人取次）

ごんちゆうなごんむねたけ
権中納言宗武

たやすはるあき さだくに
田安治蔡（五男）、定國（六男）

かずさのすけ まつだいらさだのぶ
上総介（松平定信 七男）

たてばやしこう まつだいらうこんしょうげんたけもと
館林侯（松平右近将監武元 老中首座）

しらいはんべえ とのむら
白井半兵衛（剣士）、殿村（医者）

まつぎさきごろう すぎえさくぞう
松崎佐五郎（公儀探索方）、杉江作蔵（公儀探索方）

ふせじゅうすけ しかまやろく
布施重助（公儀探索方）、鹿間弥六（公儀探索方）

いたくらさどのかみかつきよ まつだいらすおうのかみやすふく
板倉佐渡守勝清（老中）、松平周防守康福（老中）

まつだいらうきょうのたいふてるたか
松平右京太夫輝高（老中）

たぬまとものかみおきつぐ この
田沼主殿頭意次（老中）、お小濃（妾）

はちがくとう やぎへいざえもん やぎてんぜん いのうじんない
八獄党： 八木兵左衛門、八木典膳、伊能甚内

よし わかなだゆう
お芳（長屋住人）＝若菜大夫

つのげんさい ふださしこだまや あかしとうしちろう
津野弦斎（札差児玉屋）、赤石藤七郎

さかいひだのかみちゆうか さかいいわみのかみただよし
酒井飛驒守忠香（若年寄）、酒井石見守忠休（若年寄）

よだほうぜんのかみまさつぐ るすいやく
依田豊前守政次（御留守居役）

ひとつばしめんぶきょう とよちよ
一橋民部卿、一橋豊千代